

豊加美幼・小だより

平成25年3月22日 発行
NO. 18

自ら学び、心豊かで、
たくましく生きる豊加美の子

第66回卒業式を挙行。41名が巣立ちました。

春らしい温かな天候に恵まれた3月19日(火)、新装なった体育館で、本校第66回卒業式が挙行されました。平成24年度の卒業生41名が、中学校の制服を身にまとい、たくましく成長した姿で式に臨み、厳かな中にも心温まる卒業式が、無事に終了しました。

思い出っぴいの豊加美小学校を巣立つ卒業生のみなさん、そして、保護者のみなさん、ご卒業誠におめでとうございます。中学校でのますますのご活躍をお祈りします。



大きくなったね。感動の卒園式！

小学校より1日早く、18日(月)に幼稚園の卒園式が行われました。子どもたち一人一人が卒園証書を手し、大きく成長した自信に満ちた表情にあふれていました。4月からは、ピカピカの1年生。入学式で会えるのが、本当に楽しみです。

保護者の皆様、おめでとうございます。これからも、子どもたちを支え、見守ってあげてください。



3.11 防災訓練・防災集会を行いました。



東日本大震災から2年目にあたる3月11日(月)に、大地震を想定した防災訓練と、防災集会を行いました。

はじめに、教室で大地震に遭遇したことを想定した避難訓練でした。放送を聞いてすぐ、机の下に潜って身を守り、次の放送で校庭に避難しました。「お・か・し・も」の約束を守り、素速く避難することができました。

その後、全児童・園児で防災集会を開き、冒頭で東日本大震災の犠牲者に黙とうを捧げました。そして、前下妻消防署長で豊加美市民センター社会教育指導員の吉原好男先生から「自分の命を守る避難方法」についてのお話を聞きました。登下校中に被災したら、「年長者の言うことを聞いて、塀や電柱から離れて避難する」、家で一人にいるとき被災したら、「落ち着いて家の中の安全な場所に身を潜め、揺れが収まったら安全な場所に避難する」、「家族で避難場所を決めておくことが大切」などの具体的なお話をいただきました。

「3月11日」という日の意味をかみしめ、だれもが防災について真剣に考えることができました。

思い出に残る「さよなら6年生集会」

12日(火)、全児童・園児が新しくなった体育館に初めて集まり、「さよなら6年生集会」を行いました。メインは、各クラスごとに6年生といっしょに遊ぶことでした。バリエーションにとんだ種目に、6年生も楽しそうに参加していました。

後半では、これまでお世話になった6年生一人一人にプレゼントが手渡されました。また、6年生からも在校生に対して、お礼の言葉や激励のエールが送られました。卒業前のひととき、思い出に残る時間を過ごすことができました。

